

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	特定非営利活動法人ホビータイム
住 所	大分市三佐 5 丁目 1 8 0 番地
電話番号	097-503-5323

事業所番号	4410104097
管理者名	木藤 宮子
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

ペットボトル以外にも、手の不自由な方や、力の弱い方
高齢者の方々が、自助具を使用すれば「自分でできる事」を
増やし、QOLの向上につながる自助具を開発する。

地域の企業様や研究機関などと連携することにより
開発、検証、評価、設置など多くの課題をクリアする。

<目的>

実際に手の不自由な方や、力の弱い方からのアンケートの結果
「ゼリー等のパウチキャップ」について、キャップ計が小さく
開けづらいと意見が多かったため、パウチキャップについても
対応できる商品の開発・試作を行う事により使用者の困りを
一つでも多く解消する。

<成果>

ゼリー等のパウチキャップの他に、看護大学様ご協力のもと、
実際に困っている商品についてもアンケートを行った。
少しでも多くの機能を付加しようと検討・試作を行ったが
低価格での販売が目的であること、携帯しやすさ等を踏まえ
既存の“かるっく”にペットボトルの形状の変化への対応と
パウチキャップへ対象を絞り“かるっく”より大きさを
あまり変更せず製品が完成した。

<活動の様子>



会議・試作の様子



使用感等のテスト



連携先の企業等の意見または評価

製品の完成のみに留まらない、進歩ある製品開発・地域連携活動であったと評価する。

これまで「産学官交流グループ」で継続的に取り組んできた活動の一部を、今回は自社でデザイン開発が
できることを目的に、当センターへの委託研究に移す形で本製品の開発を行った。

以前開発した「かるっく」は歯の形状などの基本設計は外部の設計であったが、今回は自社で設計した。
ユーザー要求事項を、実際のターゲットに何度も試用してもらい、最適な形状の探求を行ったため、実使用
に不足のない製品に仕上がった。販路と作業性は既存と変わらないため支障はない。引き続き製品の価値を
高め、選ばれ続ける開発に取り組んでいただきたい。

連携先企業名	大分県産業科学技術センター	担当者名	製品開発支援担当 研究員 佐藤 寿喜
--------	---------------	------	-----------------------